

謹

告

故木下謙君に敬意を表す!!

今般下記の如く、故木下謙氏嚴父木下重實氏より故君の遺言により金參百圓也の寄附申出あり、本會は故君の意志を受け忝なく受納する事に決定しま



變光星課の偉才 故木下 謙君

した。茲に改めてその敬服すべき御芳志に對し深謝の意を表します。

この渺からざる金員は必ずや本會の將來の普及發展の資となつて故君の生前の意志に沿ひ得られるであらう事と信じ、更に又故君の如き眞に本會を思ふ會員にして且つ熟練有數の觀測者の一人も多く輩出する事を希ふ次第、故君の近影を再び掲載し、その優れた遺業を偲びたい。

昭和十年八月

東亞天文協會

寄 附 願

一金參百圓也

右金御協會基本金或は其他故人之意に添ふ様御使用下され度寄附願致候也

昭和十年八月十五日

故 木 下 謙

父 木 下 重 實<sup>印</sup>

東亞天文協會 御中

寄 附 願 に 添 え て

謹啓 變光星觀測員の一員として御世話様に相成居候故謙儀死去の際の遺言として貴協會に對し金參百圓寄附致度候に付御聞届け下され度御願申上候實は昨年御地風水害にて花山天文臺内備附望遠鏡等の破損を全く自己所有の物の如くに惜み居候に付故人の氣持御くみ取り之上御使用下され候はゞさぞかし地下にて満足する事と存候(後略)

八月十五日

故 木 下 謙

父 木 下 重 實

東亞天文協會 御中